

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和2年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
燕・弥彦総合事務組合	水道事業	—	—

実施状況

抜本的な改革の取組							
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				現行の経営体制を継続
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
		○			○		

抜本的な改革の取組状況

取組事項	(水道事業) 広域化等						
実施済	○	(実施類型)		(取組の概要及び効果)		(実施(予定)時期)	
		経営統合	施設の共同設置・利用	燕市及び弥彦村の共通課題である浄水場施設の老朽化等の課題に対して、既存浄水場を統廃合し新たに1つの統合浄水場を建設することを基本とした浄水場施設の再構築を行う。また、両市村の水道事業は既存の燕・弥彦総合事務組合で経営を行い、経営の効率化を図る。 経営統合により、①水道施設の効率的・効果的な配置、②交付金活用による建設コストの削減、③管理体制の強化、④水道サービスの向上、⑤持続可能な財政基盤の確立、の効果も期待できる。		平成	
実施予定		施設管理の共同化	管理の一体化			31	4
				年	月	日	
検討中		(取組の概要)		(検討状況・課題)			

取組事項	民間活用(PPP/PFI方式の活用)							
実施済	○	(取組の概要及び効果)		(方式)		(導入・契約(予定)時期)		
		浄水場施設の再構築における送配水管整備は、浄水場建設に伴い整備が必要となる送配水管(延長約22km、最大口径700mm)について、DB方式を導入した。 これにより、送配水管整備事業費は従来方式で整備した場合と比較して、3%のコスト削減効果が見込める。		BTO方式	公共施設等運営権方式(コンセッション方式)	平成		
BOT方式	BOO方式			31		4	10	
実施予定				DB方式	その他	年	月	日
				DBO方式				
検討中		(取組の概要)		(検討状況・課題)				